

ようねんきだより

平成21年7月17日（金）NO. 2



幼稚園・保育園参観と語る会

— たくさんの方のご参加を！ —



みどり保育園参観と語る会

<日 時> 7月28日（火）
8：30～12：00

<場 所> みどり保育園
豊橋市石巻平野町字中野田 103-1
TEL 0532-88-0453
<内 容> 保育参観、
語る会（グループ討議）



市の北部にあり、自然に恵まれた環境のなかでのびのびと子どもたちが育っています。近くの西郷小学校との交流も盛んで、先生全員が保育実習の交流をしています。

当日は、年長の子どもたちが育てた野菜を使ってカレー作りに挑戦します。試食会も行いますので、多数ご参加をお願いします。

京都東本願寺豊橋別院が設置している、豊橋で一番初めにできた幼稚園です。市街地にありますが、広い運動場が確保され、ゆったりとした感じがします。

隣の豊橋別院で、毎月1回茶道教室が行われ、年長さんが礼儀作法を学んでおり、当日もその様子が参観できます。また、異学年交流も積極的に行われています。

花園幼稚園参観と語る会

<日 時> 8月25日（火）
9：30～12：00

<場 所> 花園幼稚園（豊橋市花園町6-1）
TEL 0532-54-7611
<内 容> 保育参観、
語る会（グループ討議）

豊橋市小学校生活科研究部授業研究会に参加して

「とびだせ！空気くん」（6/30（火） 富士見小学校 2年生）

小学校の生活科では、「自らの生活を切り拓く子ども～対象への気付きから自分自身への気付き～」というテーマのもと、対象への気付きを深めていく授業を積み重ねながら、今年度は「自分のよさや可能性に気付く」実践を目指しているということでした。

空気砲作りや試し打ちを繰り返すことで、空気の不思議さやおもしろさを自分なりにとらえたり、友だちの活動と自分の取り組みとを比較したりしながら、自分自身の良さを実感することができる授業が展開されていました。目に見えない空気という存在を考えるために、空気あてバトル等のゲーム的な要素も取り入れられ、とても楽しい授業でした。



<参加者の声>

- ・ 幼児期に生活の場を通して意欲的に遊び、遊びの中から発見したり工夫したりすることの大切さを再確認しました。（保育士）
- ・ 生活科は保育園の生活（遊び）の延長線上にあると思いき、つながりを感じました。（保育士）
- ・ 子どもたち一人一人がとてもパワフルで、授業が子どもたちの力で進んでいるという印象でした。（保育士）
- ・ 経験したことや感じたことを自分の言葉で言える子、生きる力をもった子に成長するために、乳幼児期にこそ目が輝くような遊びをたくさん経験し、様々な可能性の芽を育てていきたいと思いました。（保育士）

明照保育園と牟呂中学校の交流学習

保育園との交流学習は、家庭科の授業で行っています。この交流が始まってから、もう十数年になります。「ふれあい」が一番の目的であるため、担当クラスを決めておくこと、簡単な注意事項を確認するだけで出かけます。

園児を目の前にして、中学生はとても緊張して表情も硬いのですが、それもつかの間。園児の方からどんどん遊びに誘ってくれるので、中学生も汗だくになって夢中で遊びます。学校では見せない優しい表情をするため、担任の先生にも「是非見に来てください。」と声をかけています。これまでも、行きは列の最後尾から嫌々ついて来ていた男子生徒が、園では園児に囲まれ充実した活動ができ、帰りは先頭で意気揚々と戻って来たということもありました。



中学生の中には卒園生もおり、その当時の担任に「大きくなったねえ。」と声をかけてもらったり、この交流をきっかけに真剣に保育士を目指す生徒が増えたりすることもあります。たった1時間のふれあいの時間ですが、新たな自分との「出会い」の場にもなっています。

最初は戸惑うこともありましたが、笑顔で接してくれる子たちが多く、不安もなくなり、楽しく実習ができました。 T子

子どもたちがニコニコしてくれて、見ているこっちもうれしい気持ちになったし、元気がもらえました。行ってみると楽しかった。 M子